

産業を元気にする事業



本市への就職に興味がある大学生などが地元企業を見学する「事業所見学バスツアー」。本年度は「岩手日日新聞社」「世嬉の一酒造」「SWS東日本」などの事業所を訪問しました。参加者からは「働くことのイメージがハッキリした」「進路選択の視野が広がった」などの感想が寄せられました。

DATA
【事業名】若者地元就業定着支援事業「一関市事業所見学バスツアー」「若手社員向けセミナー」など
【対象】県内の大学生、入社3年目までの社員など
【事業を始めた年】27年度
【本年度実績/金額】172人/150万円
☎本庁労働政策課 ☎② 8461

若者の就業支援

応援基金から使った金額→1,500,000円

DATA
【事業名】中学生最先端科学体験研修事業
【対象】市内の中学3年生
【事業を始めた年】23年度
【本年度実績/金額】19校65人(28年8月8日～10日) / 180万円
☎本庁教育総務課 ☎② 8823

最先端科学への理解を深めるために、市内の中学生が体験研修を行います。本年度は、中学3年生65人が茨城県つくば市の高エネルギー加速器研究機構(KEK)や筑波宇宙センター(JAXA)などを訪れました。3日間、世界最高峰の技術に触れた生徒らは、施設の職員に積極的に質問していました。



子供と高齢者の笑顔が輝く事業

最先端科学体験

応援基金から使った金額→1,800,000円

その他市政の推進に資する事業



いちのせき健康の森で行う「英語の森キャンプ」では、英語の生活や外国語文化の体験を通して、未来を担う中学生が国際感覚を身につけます。本年度は、3日間の日程に市内の中学2年生55人が参加。外国人講師との英会話などを通じて、英語力を一段と向上させました。

DATA
【事業名】英語の森キャンプ事業
【対象】市内の中学2年生
【事業を始めた年】26年度
【本年度実績/金額】18校55人(28年7月27日～29日) / 90万円
☎本庁いきがづくり課 ☎② 0820

英語の森キャンプ

応援基金から使った金額→900,000円

「二関を元気に」という気持ちには、若者の夢を育み、次代を担う多彩な人材を育成します。温かい支援に深く感謝しながら、市の将来のための事業に役立てられる本市のふるさと納税。あなたの応援が、地域の未来を創っています。

あなたの応援が地域の未来を創る

本市への寄付金は「ふるさと応援基金」として積み立てています。基金は①歴史と自然を大切に事業②産業を元気にする事業③子供と高齢者の笑顔が輝く事業④スポーツと文化を育む事業⑤その他市政の推進に資する事業の5つに分配。上記で紹介した事業のほか、さまざまな事業の基盤になります。将来を見据え、どの分野に力を入れるべきか。地域の未来のカタチを、寄付者が選ぶことができます。

ふるさと応援基金

スポーツと文化を育む事業



1 マラソン選手の前裕美子さんと運動を楽しむ南小学校の児童(28年6月) / 2,3 「夢先生」から目標を持つことや努力の大切さを学ぶ

夢の教室

応援基金から使った金額→1,000,000円

DATA
【事業名】JFAこころのプロジェクト「夢の教室」事業
【対象】市内の児童(小学校高学年)
【事業を始めた年】22年度
【本年度実績/金額】7校9教室215人(28年6月～11月) / 100万円
☎本庁スポーツ振興課 ☎② 0860

日本サッカー協会(JFA)が全国各地で実施している「夢の教室」。本市でも22年度から導入しています。さまざまなスポーツ選手や、引退後も各方面で活躍する元選手などが「夢先生」となって小学校を訪問。ゲー

ムやトークの授業を通して▶子供たちに夢を持つことの素晴らしさ▶夢に向かって努力することの大切さ▶仲間と協力することの大切さなどを伝えます。28年度は南小学校を始め、市内7校9教室で開催しました。

3 未来のカタチ

Your choice creates the future.

あなたの選択で明日が変わる。地域の輝く未来のために次代を担う人材を育てよう。

「ふるさと応援基金」として積み立てられる、本市への寄付金。基金で行う事業で「夢」が育ち、「人材」が生まれる。未来のカタチは、ひとつじゃない。あなたの応援が、キラキラした明日を創っていく。

